

Waterless CURRENTS

2004年1月号

世界水なし印刷会議が2004年 drupa 展で開催へ

ヨーロッパ水なし印刷協会(EWPA)が先導し、日本 WPA と WPA が協力する形で水なし印刷3協会が drupa2004 の会場で「世界水なし印刷会議」を開催することになった。5月16日(日)この会議には始めて、日本から、世界各地からの参加者が多く参集してくれる。この行事の特徴でもあるが、日本を含む各国の、多彩な WPA 会員が駆けつけようとしてくれている。

drupa 展は2004年5月6日から始まり、5月19日に終了となる。

EWPA の尽力で、会場内のデュッセルドルフ会議センターの1階会議室を予約することができた。世界水なし印刷会議は5月12日(水)午前11時から始まり、午後4時に終了する。全水なし印刷業者に告げたいが、この重要な会議にはぜひ、ご出席いただきたい。本会議への参加申し込みの要領は次号に詳細を掲示させていただく。

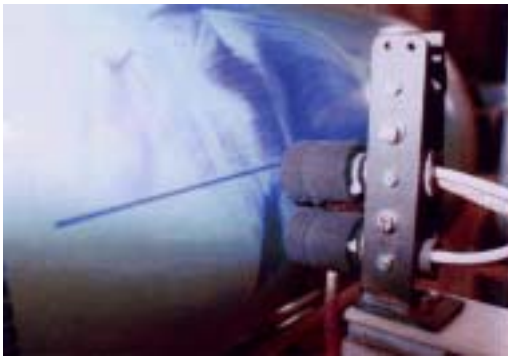
新しい水なし版焼付け装置

Waterless Current2001年7月号でベルギーの Willy Smeets 氏による開発の水なし版兼用現像装置について記述した。最近、Smeets 氏からその技術の詳細情報と写真をいただいた。Smeets の主張によると、本手法は安価にできるだけでなく、機上現像でも機外現像でも使えることである。どちらにしても、この手法では版面全体を現像するのではなく、画像部だけを現像してくれる。

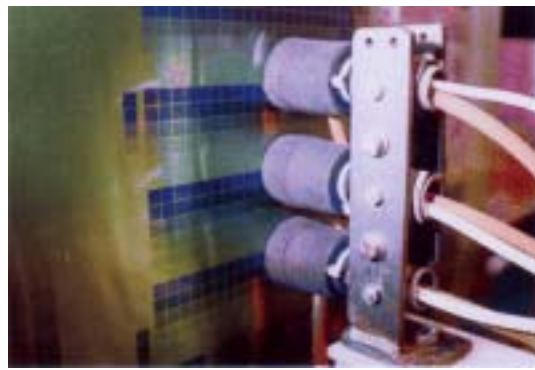
Smeets 氏は、この方法ではすべての種類の水なし版を現像できると言っている。プレステック社のパールドライ版、東レ版も含まれる。



ヘッドの詳細写真、新しい現像技術で使用



版胴上にイメージヘッドを2個取り付け、東レアナログポジ版を現像



この写真では、東レ CTP 版をイメージングヘッド3個で機外現像をしている



イメージングヘッド1個のもとに、東レ CTP 版が版胴に装着されている



この写真では東レアナログ・ポジ版がイメージングヘッド3本により、オフプレス(機外)で現像されている

この東レ版はアナログ版のポジ版、ネガ版でも良く、CTP 版も同様である。この記事の記述時点では、我々のヨーロッパの関連先の誰も、機上現像テスト、実用化試験をしている情報をつかんではいない。試験情報が入り次第、その結果を報告させていただく。

Smeets 氏が記事と写真の情報を提供してくれたことに感謝する。WPA はこの手法の効力については論評しない。本情報にはもっと質問をぶつけるべきであろう。どうか、ご興味のお持ちの方は次のところまでご質問いただきたい。

Willy Smeets 氏(オランダ語)、電話 : +32-47-3211-355

e-メール : willysmeets@hotmail.com.

東レ株式会社は未来の技術を開示

マーケットのニーズに合わせ、東レ株式会社は耐磨力と耐刷力を強化した版材の開発に取り組んでいると公表した。オフ輪転機上のテストでは従来版の倍にも達する、30 万枚もの耐刷力を達成した。2004 年に市場導入される。

また、版材の前処理での化学薬品の必要性もなくなった。新しい現像方式では水とブラシだけでの現像ですむ。この製品を 2004 年 drupa で技術出品する。

世界経済人会議が Green House Gas (GHG=温室効果ガス) 登録を創設

世界経済人会議では、世界的な排出ガスを行っている企業群の開示と管理を容易にするため、温室効果ガス登録を創設した。先端ビジネスと環境団体との協同開発により、この登録を通し世界規模で企業の自主的意思で排ガス規制を促進させ、排出量の削減目標公開を目指し、透明にして、国際的な、一貫したフレームワークを貫こうとしている。世界経済人会議は 2003 年 12 月、イタリーのミラノで開催された。

世界の温室効果ガス排出のほぼ 5%を占める 8 社の企業が既に、排出量取引に則る排出量の登録を約束してくれていて、多岐にわたる業種、地域の 12 の企業がさらに討議に加わってくれている。

多くの会社は株主、政府、コミュニティから温室効果ガス規制の自主申告を要請されているが、今までのところ、比較可能な、世界的な、連結可能なベースでの情報公開のできるプラットフォームが存在していなかった。世界規模の温室効果ガス登録とは、実業と環境のコミュニティが強調努力を重ねてできるもので、世界のビジネス側からの幅広い反応と炭酸ガスの危険度をよく認知した投資家による一種の共通土俵を作り上げることであろうと、世界経済人会議の専務理事、Rick Samans は言う。

世界的温室効果ガス登録に参加する企業は次の事項を求められる。

- * 世界資源研究所や持続可能な開発のための経済人会議が中心となって割り出した温室効果ガス・企業会計報告手順書に則って、温室効果ガスの 6 項目の排ガス量を全社にわたり算出する。
- * 報告情報は web ベースのプラットフォームで公知でき、年次更新を図ること。カリフォルニア気候アクション登録簿は、web ベースの報告形式、オンラインで温室効果ガス登録ができるように作られている。
- * 温室効果ガス排出量は個別に証明する。排出量が登録時に個々に証明できないと、情報証明を確約してくれる過程を踏むことを約束する。この場合、登録先での第三者、無作為検査を受けるようになる。

企業に排出量の差額が生じ、温室効果ガスの軽減を報告できるなら、これは参加企業で超過量になっている先への引き取り対象となる。投資家による預託機関、顧客、NGO の仕組みにより、温室効果ガス排出情報はますます、企業での開示がなされてこよう、と Rick Samans 氏は言う。「企業は排出交換リスクをどのように収めたいか、また、排出量交換の緊急性に直面し、どのように処すればよいか。」「投資家は特に、排出量交換の危険を頓着し始める。温室効果ガスの輪郭と企業の交換への応答が企業業績の重大なる要素となり、これは単にブランド力、市場評価だけの問題でなく、危険度算定、資本コスト、流動性、利益性とまでみなされる。世界的温室効果ガス登録は投資機関の中で企業の開示明朗度の金字塔とまでなる。標準化され、連結されたベースで排出報告がされていると、企業内容の分析ができるのだ。」と Samans 氏は言う。

世界的温室効果ガス登録の宣言はイタリアのミラノでの「気候変動枠条約事務局会議」、COP9 部会会議を通して行われた。年間、8 億トンと推定される炭酸ガスの排出量に達する、8 大巨大企業とは、Anglo American, Cemex, Hewlett-Packard, Lafarge, RAO Unified UESR, RWE, ScottishPower それに Vattenfall である。

企業データ登録は 2004 年の初頭、1 月に開催される世界経済人会議・定期ダボス会議で登録開始と実施開始宣言に続き、web サイトに掲載され出す。

世界経済人会議の世界での温室効果ガス登録のパートナーとしては、BrasilConnects, Deloitte Touche Tohmatsu, the International Emissions Trading Association, the Pew Center for Global Climate Change, the World Business Council on Sustainable Development (WBCSD), the World Energy Council, the World Resources Institute (WRI), それに the World Wildlife Fund である。

「我々は新しい世界的温室効果ガス登録者を歓迎する。企業の排出責任をより透明性にしてくれよう。」と、WRI と WBCSD のプロジェクトたる、GHG Protocol Initiative (排出量の算定方法基準) の専務理事、Janet Ranganathan は言う。さらに、「企業が温室効果ガス算定を標準として排出計算に使うのなら、世界温室効果ガス記録簿側からは個別報告書にアクセスできる集中プラットフォームを提供していく。」としている。

できごと

オランダの出版物として WPA のバタフライロゴが始めて、IAC オフセット社によって使われた。

"10 Jahre Kunstverien Grafschaft Bentheim" という題名の 128 ページの本でヨーロッパのアーティストによる数多くの写真が収録されている。

作成 WPA・アーサー・ラフィーバー
日本語作成 日本 WPA・五百旗頭忠男